

6 月 16 日 (木)

●オープニングセレモニー

16日のエクスレバンは、空の端に手が届きそうな曇天で時折強い雨が降る憂鬱なお天気のお朝でした。それでもセレモニーの開始時刻の10時が近づくと奇跡的に雨がおさまり、お陽様が雲の合間から顔をのぞかし始めました。およそ200名の来賓とエクスレバン市民が集まる中、エクスレバン市の日本庭園にて、ドミニク・ドール市長のスピーチにより、在リヨン領事事務所とエクスレバン市が半年に亘り協議を重ねて作り上げた日本祭が開幕いたしました。

オープニング式典で、小林所長は、エクスレバンを終の住処とされ、現役当時「サムライ外交官」と呼ばれていた小林智彦大使にまつわるエピソードを紹介し、故小林大使をはじめ、本日の日仏関係構築に御尽力なされた方々に敬意を表するとともに、未来の世代にその先輩方の思いをつないでいきたいと述べました。式典会場となった日本庭園は、1997年フランスにおける日本年の機会に、小林大使の未亡人であるユゲットさんのお支えにより完成したものです。今回の式典では大使のお名前を頂戴し、この日本庭園を「小林園」と名付け、記念に桜の木を植樹致しました。



●裏千家流茶道のお点前

式典に続き、エヴルー由布子先生のお手前によるお茶会が厳かな雰囲気の中行われました。来客の皆さまも、真剣な眼差しでそのお手前の妙技を見ておられました。お茶は、八女市の三田村統之市長から提供いただいた八女産の最高級抹茶を使用しました。エクスレバン市のドミニク・ドール市長は、お茶会は初めての経験ということでしたが、こくのある味わいの八女のお抹茶をしっかりと堪能しておられ、お飲みになった後には左手でグッドサインもされていました。

終了後、来客のお一人から、「フランス人が100名も集まって、30分間物音のひとつも立てず、静寂感とこの哲学的な雰囲気共有しているなんて、生まれて初めて見た光景です」、という感想をいただきました。



●藤原道山×SINSKE コンサート

日本祭初日の夜は日本庭園横の Casino Grand Cercle にて、藤原道山及び SINSKE による「尺八×マリンバ」コンサートが開催されました。「尺八とマリンバだけで、オーケストラのような多彩な響きを生み出す」という、二人の思いがこもった、迫力のある音楽の世界にエクスレバン市民は酔いしれ、公演終了後はアンコールの喚声と、スタンディングオベーションがいつまでも続きました。



初日の様子は [France 3 のウェブサイト](#) にビデオ付きで報道されているので是非御覧ください。

6月17日（金）

●日本映画「あん」上映会

市内の Cinema Victoria では映画「あん」が上映されました。上映前には服部晶氏による、映画の解説と河瀬直美監督についての説明があり、日本映画にそれほどなじみのないフランス人の観客の方々にも、独特な撮影手法や日本映画特有の静けさを存分に堪能していただくことができました。上映後には「あん」のストーリーにちなんで、御来場された方々にどら焼きを味見していただきました。映画で見たばかりのお菓子を実際に食べられるということで、どら焼きを配る職員の前には長蛇の列ができていました。



6月18日(土)、19日(日)

●日本の屋台

- * 日本祭 縁日 (アソシエーション Ota'Sekai)
- * 八女茶の利き茶会・伝統工芸品展示会 (協力: 八女市、うなぎの寝床)
- * 日本観光案内 (主催: Voyage et Tradition)
- * たい焼き café

小林園の横の屋外会場では屋台が軒を並べ、みなさまをお迎えいたしました。アソシエーション Ota'Sekai は手作りの焼きおにぎり、チョコバナナやかき氷を提供。おにぎりの焼ける良いにおいが会場を包んでいました。たい焼きは大変な人気で、長蛇の列ができていました。二日目は天気もよく、かき氷を食べて涼んでいる方も目につきました。また、日本のお祭りに欠かせないヨーヨーつりなどの縁日や剣玉などの日本の遊びは、世代や国籍を超えて人気で、剣玉においては、お子さんよりも熱中されている親御さんもいらっしゃいました。剣玉コーナーにいらしたお客様には、日本政府観光局パリ事務所から提供いただいた和風柄のうちわをおみやげとして差し上げました。





その目の前に設置された八女市の伝統工芸品展示会では、箱びながひとときわ目を引き、たくさんのお客様にテントを訪れていただきました。200年の歴史がある伝統の織物・久留米絣や、線香の原料となる杉粉を昔ながらの水車で挽いて作った杉の葉線香、八女の木工製品などほかの展示物も並び、多くの方が「これを売ってほしい!」「どこに行けば買えるのか!」との声をあげておられました。テント脇では、八女茶の利き茶会を行い、農林水産省の「地理的表示 (G I)」に登録された玉露、高級煎茶、そしてほうじ茶の三種類を水出ししたものを読み比べていただきました。フランスでも広く親しまれている緑茶ですが、一般的にこちらで売られているものとの味や香りの違いに、「これは本当にグリーンティーなのか」と聞かれる方もおられました。たくさん用意したお茶も、予想以上のお客様の数ですぐになくなり、追加で用意する必要があったほどの人気で、二日間を通して約500人の方々にお茶を味わっていただきました。



● Lamartine ホール会場イベント

- * 盆栽デモンストレーションと展示
- * 生け花展示
- * ゲームコーナー（協力：バンダイナムコ・ヨーロッパ）
- * その他（漫画、剣道、居合道、折り紙教室など）

屋内の Lamartine ホール会場は、フランスの盆栽クラブ、l'Académie de Bonsaï による 150 点の盆栽が入り口すぐそばを埋め尽くし、緑あふれる和の空間に包まれました。さらに、埼玉県松芳園三代目、赤沼祐司先生による盆栽のデモンストレーションにおいては、盆栽が作り上げられていく過程を見つめる、観客の方々の真剣なまなざしが印象的でした。また、エクスレバン草月流生け花協会による生け花展により、会場はより華やかに彩られました。



会場奥は、バンダイナムコ・ヨーロッパ社の御協力によるゲームコーナーとなっており、Naruto やドラゴンボールなど、日本だけでなく世界中で大人気のビデオゲームが並び、ゲームで遊びたい子供や大人で列が途絶えませんでした。ほかに来場者の注目を集めたのが、会場内の特別ステージで行われたシャンベリー剣道クラブによる剣道の模範試合。観客は、目の前で繰り広げられる日本の武道の迫力と美しさを、息をのんで見守っていました。午後には同じステージで、ラファエル・マイヨさんによる折り紙教室が開催されました。マイヨさんの丁寧な説明により、初体験の参加者も楽しみながら折り紙の基礎を学ぶことができました。また、炭アーティスト梵彩の作品も展示しており、お客様の目を引いていました。



6月18日(土)

●SACHIKO 琴音コンサート、パリ三線クラブコンサート

土曜日の晩にはカジノの Salon Victoria にて伝統和楽器によるコンサートがありました。先ず始めに美しい白の着物で登場されたのは、プロの箏演奏家である、SACHIKO さん。皆釘づけになって、最後まで、豊かな箏の音と卓越したテクニックに魅了されていました。そのあとに登場されたのが、沖縄の伝統楽器である三線を演奏する、パリ三線クラブ。前半の箏とは打って変わった、さわやかな三線の音とよく伸びる素敵な歌声にどこか懐かしさを感じました。最後には皆立ち上がって、民謡に合わせてエイサーを踊り、大変盛況でした。

予定ではそこでお開きになるはずだったのですが、日本二胡振興会会長であり、二胡演奏家の武楽群先生の御厚意により、二胡のソロ演奏と、箏と三線それぞれとの即興コラボレーションが実現しました。武先生は小林所長の友人であり、偶然フランスを御旅行中であるところ、コンサート前日にもかかわらず、所長の提案に快諾頂き、旅程を変更して、エクスレバンまでおいでいただきました。嬉しいサプライズに、終了後は拍手が鳴りやみませんでした。日本祭ではありますが、日中友好の美しい形をエクスレバンの皆様にお見せすることができました。





6月20日(月)

●日本食文化講座・蕎麦打ちデモンストレーション
第1回15:00、第2回19:00

今回の祭りの目玉イベントの一つ、日本食文化講座・そば打ちデモンストレーションには、パリより味の素ヨーロッパ社の村上友子氏、また、はるばる東京から「駒形どぜう」六代目当主・渡辺孝之氏が駆けつけてくださいました。村上氏によるプレゼンテーションでは、ユネスコ世界遺産登録された「和食」について、とても細かく説明していただきました。一汁三菜など日本独特の食文化や、時代とともに変遷し、多様化してきた日本食の歴史には観客も興味深く耳を傾けていました。和食の基本を学んだあとは、和食の代表格である蕎麦を、観客の目の前で打っていただきました。そば打ち名人の渡辺氏のユーモアあふれるお話とデモンストレーションに会場は笑いが絶えませんでした。渡辺氏に打っていただいたそばは、試食として来場者に配られました。皆様、お箸を使いながら美味しそうに蕎麦をすすっておられました。







●日本映画「東京物語」上映会

金曜日の上映会に引き続き、服部晶さんによる解説で始まった上映会も、日本映画の名作ということもあり会場は満席となりました。

本映画の主題の一つは家族内関係であり、これは万国共通のテーマとして、異なる国や言語、時代背景であっても共感の持ちやすく、皆様とても興味津々に鑑賞されていました。また、小津安二郎監督の代表作品でもあり、トリュフォーやゴダールなどのヌーベルバーグ(Nouvelle Vague)に影響を与えた「東京物語」だけあって、世代を越えた観客がお集まりになり、日本映画の真髄を満喫されておられました。



6月21日(火)、22日(水)

●日本文化(書道、折り紙)アトリエ(協力: シャンペリー日仏協会)

エクスレバン日本祭のラストには、「今まで見て楽しんだ日本文化を実際に自分で作ってみよう!」ということで、シャンペリー日仏協会の御協力による日本文化アトリエが開かれました。エクスレバン市内の小学校の課外授業も兼ね、約200人の子供たちがアトリエに参加しました。一所懸命、自分の名前(カタカナと漢字)を書く様子はとても喜ばしい光景でした。また、シャンペリー日仏協会からお持ちいただいた、折り紙で作った毬や動物、草花などの作品の精巧さには皆とても驚いていました。





江頭副領事による教育広報では、日本の伝統文化だけでなく、最新の技術がたくさん紹介されました。特に、自動駐輪場やロボットホテルなど、フランスをはじめヨーロッパでは馴染みのない技術には子供たちも歓声を上げていました。帰り際に、VIZ Media ヨーロッパ社から御提供いただいたドラえもんのおもちゃを、おみやげとして子供たちに渡しました。皆目を輝かせて「Arigato!」と言っていました。最終日の22日には、一般の方向けのアトリエも開催され、本格的な書道と折り紙の教室に来客者が後を絶ちませんでした。





●主な報道ぶり



Who's who special

アルプス山脈の温泉保養地
エクスレパンで
日本の祭りを開催



ドミニク・ドールさん
Dominique DORD | Député maire d'Aix-les-Bains

報告者：エクスレパン市長
報告：毎年の祭りに日本文化の伝承、サウザンシブツパルで登場する、シンパレにて1900年代を再現、リボンパルで学生生活を語る。1992年にはヨーロッパ最長の温泉保養地に選ばれる。2011年3月よりエクスレパン市長として活動している。

エクスレパンはどこですか？

エクスレパンはフランスのアルプス山脈の麓に広がるアルピンの保養地です。観光に最適な、豊かな自然に囲まれた温泉保養地で、人口は約2000人です。市からは、TVGにて24時間放送されています。



なぜエクスレパンで「日本の祭り」を開催することになったのでしょうか？

エクスレパンと日本の関係は、1998年に「フランスにおける日本祭り」の開催、これが日本国政府から、関係強化の目的で、エクスレパンに選ばれることになりました。毎年フランスで実施されたサウザンパルパルで日本代表が参加した際、エクスレパンを会場として開催したことがきっかけとなりました。

その結果、エクスレパンは温泉保養地として、日本の祭りや文化の伝承地として知られることになりました。そのうち、自然と日本の祭りや文化の伝承地として知られることになり、観光客の増加につながりました。毎年イベントを開催することになりました。

祭りに、どのような準備をされていますか？

今年が初めての祭りで、なんとも緊張しています。ロープ・アップル・アクトから約500人が参加するイベントです。また、Facebookのイベントページでは、200人以上の方が参加の意思を示してくれています。また、参加の準備が完了すれば、日本料理の準備も進んでいます。

祭りに、どんな楽しみが予定されていますか？

祭りが開催される1週間前、フランスと日本、2つの異なる文化を体験できるような、招待状が送られます。また日本の伝統的な、近代の芸術の取り入れも入るようなイベントも開催しています。また、日本料理のイベントも開催しています。また、日本料理のイベントも開催しています。また、日本料理のイベントも開催しています。

エクスレパンは、日本人にとって魅力的な場所ですか？

ここに集まる日本人、観光客だけでなく、エクスレパンに在住する日本人も、祭りに参加したいと考えています。エクスレパンは、自然豊かな保養地であり、生活するのに適している。また、日本料理のイベントも開催しています。また、日本料理のイベントも開催しています。

のんびりとした雰囲気は、きっと忘れられない思い出になることでしょう。



エクスレパン日本祭



開催期間：2016年6月19日（土）～22日（火）
パルパルのアクセス：パルパルから徒歩10分
TVGでの放送
リボンパルのアクセス：リボンパル、チューンから徒歩10分（約1時間10分）
www.mairie.aixlesbains.com

LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ | JEUDI 9 JUILLET 2016

SPORT

“Journée des arts martiaux japonais”, samedi au dojo

Samedi, à partir de 9h30, l'Association Savoyarde des Arts-Martiaux Japonais (ASAMJ) propose une journée d'échange entre les disciplines telles que l'aikido, le jiu-jitsu, le karaté, le kendo et le kyudo. Des hauts grades dont David Starbrook, 9^e dan de jiu-jitsu sont attendus. Alors que le festival japonais "Natsu" débute jeudi prochain, M. Ryoshiro Kobayashi, consul du Japon sera également présent. Le rendez-vous est fixé au Dojo d'Aix-les-Bains, boulevard Lepic. Entrée gratuite



SPORT | Avec l'Association savoyarde des arts martiaux japonais LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ | MARDI 14 JUIN 2016

Réussite totale de la 1^{re} journée d'échange



C'est samedi, s'est déroulée au Dojo d'Aix, la Journée des arts martiaux japonais organisée pour la 1^{re} fois par l'Association savoyarde des arts martiaux japonais (ASAMJ) présidée par Jean Claude Tondoux. En présence de David Starbrook 9^e dan de jiu-jitsu, cette journée a permis de rencontrer et intéressants échanges entre les divers compétiteurs de disciplines japonaises différentes ! Le hasard du calendrier a fait que cette journée se soit déroulée avant le 1^{er} Festival japonais (Natsu) organisé à Aix-les-Bains à partir de ce jeudi 14 jusqu'au 22 juin avec des expositions d'arts et savoir-faire japonais. 1^{er} le président Tondoux et les différents responsables de ces sports de combat japonais, devraient retrouver l'expérience et se retrouver à nouveau en 2017 dans le Dojo aixois !

(ニュースダイジェスト 2016年5月5日版)

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月9日・14日版)

AIX-LES-BAINS Une semaine pour découvrir toutes les facettes de la vie nipponne, du 16 au 22 juin

Un festival pittoresque japonais à découvrir dès demain

Le bureau consulaire du Japon à Lyon et la ville d'Aix-les-Bains organisent un festival pittoresque japonais du 16 au 22 juin. Autrement dit, un Matsuri, en japonais dans le texte. Durant près d'une semaine, au sein d'une ambiance festive et traditionnelle, le Japon sera mis à l'honneur à travers une série d'événements permettant de découvrir une culture japonaise authentique, entre tradition et modernité. Grâce au concours de nombreuses associations, artistes, maîtres et partenaires franco-japonais, différentes animations seront proposées dans toute la ville d'Aix-les-Bains selon différentes thé-

matiques : la nature, la gastronomie, le musagie, le cinéma, l'art traditionnel ou la culture pop. Cet événement ne tombe pas du ciel. Les relations entre la station thermale et le pays du soleil levant ont été tissées de longue date. Une amitié qui remonte à 1998. En 1998, l'équipe du Japon avait établi son camp de base à Aix-les-Bains pour la coupe du monde de foot. Les médias nippons avaient abréuvé leur pays d'images du lac du Bourget, ouvrant sa visibilité auprès d'un public réceptif à la beauté des lieux. La même année, un jardin japonais avait été créé en centre-ville, dans le parc du casino Grand cercle. Dessiné par deux maîtres paysagistes japonais, ce petit Eden nippon avait été dédié à l'ancien ambassadeur du Japon auprès de l'union européenne, dont la veuve, Mme Kobayashi, est installée à Aix-les-Bains. Cette nouvelle page d'amitié entre Aix et le Japon vise donc à enrichir l'histoire commune de ces deux territoires. La plupart des animations sont gratuites. Informations auprès de l'office de tourisme, 04 79 88 68 00 ou sur le site www.matsuri.aixlesbains.com



Le jardin japonais, dans le parc du casino Grand cercle, s'est refait une beauté pour accueillir la cérémonie d'inauguration, jeudi.

Le Matsuri japonais démarre aujourd'hui, jusqu'au 22 juin



À 10 h ce matin au jardin japonais, avenue Ch. de Gaulle (photo), a lieu l'inauguration du festival japonais, en l'absence notamment du Consul du Japon de Lyon. Suivent une cérémonie du thé traditionnelle, en acadie libre. À 16h30, atelier guidé 'Art théâtral du Japon'. Places limitées, inscription à l'office de tourisme (tarif: 8 euros). À 20h30 au Salon Victoria du casino: concert Dorian Fu. Jueves 3. Samedi Tour 2016, mariage du Terrien et de la Nipponaise. Accès libre. Places limitées.

Ouverture colorée pour la semaine japonaise



Aix-les-Bains a lancé le plus grand festival japonais de France. Pendant une semaine, toutes les facettes de la culture nipponne seront mises en lumière: cinéma, musique, art japonais, cuisine, etc. Aujourd'hui, c'est la cérémonie du thé traditionnelle, en acadie libre. À 16h30, atelier guidé 'Art théâtral du Japon'. Places limitées, inscription à l'office de tourisme (tarif: 8 euros). À 20h30 au Salon Victoria du casino: concert Dorian Fu. Jueves 3. Samedi Tour 2016, mariage du Terrien et de la Nipponaise. Accès libre. Places limitées.

MERCREDI 15 JUIN 2016 | LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月15日版)

LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ | VENDREDI 17 JUIN 2016

FESTIVITÉS Un Matsuri, festival japonais d'animations, a démarré hier pour une semaine

Des liens d'amitié renforcés avec le pays du soleil levant

« J'adore Aix-les-Bains ! » C'est d'une voix forte, à l'accent charmant nippon, que le Consul du Japon de Lyon, Ryuchiro Kobayashi, a entamé son discours hier matin devant le jardin japonais du parc du Casino. Cette ville insensiblement tant à Hakone, avec ses eaux chaudes et sa dent du chat. Mais elle a en plus des vestiges romains. Pour nous Japonais, c'est notre Rome antique s'est épanouie. Il a aussi loué les peintures japonaises du musée Fenaille et la beauté du casino Grand cercle, « où il a déjà laissé une partie de ses économies ». « Je suis convaincu que l'installation de la Matsuri japonaise dans les retombées auprès des japonais qui vivent en France, mais aussi pour les touristes nippons qui voudraient voir votre ville. C'est bien le but ! Le maire Dominique Doré, lui, n'a pas caché qu'il comptait faire d'Aix la ville de référence pour les milliers de Japonais installés en Savoie-Haute-Alpes. Cette première édition de festival japonais devrait ainsi devenir, à l'avenir, un temps fort des animations locales. **Marc BERNARD**



De nombreux Aixois sensibles au lien franco-japonais ont participé hier à la cérémonie d'inauguration.

L'INFO EN + GENESE D'UNE AMITIE C'est en 1998 que l'amitié Aix-Japon s'est nouée, quand l'équipe nationale du Japon s'est installée au Domaine de Marlioz pour la coupe du monde de foot. Les spirituelles entre la ville et Hakone n'ont échappé à personnes: montagnes, sources thermales, douceur de vivre... Le Consul du Japon, Tomohiro Kobayashi, séduit par Aix, avait initié la création d'un jardin japonais dans le parc du Casino en symbole d'attachement. Sa veuve, Huguette, est devenue résidente aixoise.



AIX-LES-BAINS Le festival japonais se poursuit jusqu'à mercredi

Jusqu'à mercredi, de nombreuses animations sont proposées au grand public : cinéma japonais, cours de cuisine, tailage de bonzai et ikkebana, origami, calligraphie, démonstrations de combats au sabre, concerts de musique ou cérémonie du thé. Plus de 100 animations jusqu'au mercredi 23 juin. Programme, avec lieux et horaires sur le site www.matsuri.aixlesbains.com

LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ | LUNDI 20 JUIN 2016 |

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月17日・20日版)

NOS IDÉES DE SORTIES



AIX-LES-BAINS Le festival japonais se poursuit jusqu'à mercredi

Le "Matsuri", kermesse traditionnelle japonaise, a été inauguré hier. À compter d'aujourd'hui et jusqu'à mercredi, de nombreuses animations seront proposées au grand public : cinéma japonais, cours de cuisine, tailage de bonzai et ikkebana, origami, calligraphie, démonstrations de combats au sabre, concerts de musique ou cérémonie du thé (notre photo) : Aix-les-Bains sera japonaise sous toutes les coutures. Plus de 100 animations jusqu'au mercredi 23 juin. Programme, avec lieux et horaires sur le site www.matsuri.aixlesbains.com

LE DAUPHINÉ LIBÉRÉ | VENDREDI 17 JUIN 2016 |



À l'entrée du magnifique jardin japonais, une plaque d'hommage à l'ancien Consul a été dévoilée, en présence de son épouse, Huguette Kobayashi (les deux Consuls portent le même nom). Puis le cérémonial de thé s'est déroulée au salon Victoria du Casino. Un rituel très codifié qui scelle un moment unique de partage. Le public a été saisi par la sobriété de la scène.

Tout le programme du Matsuri d'Aix-les-Bains jusqu'au 22 juin

Vendredi 17 juin :
- 20h45 au cinéma Victoria: Projection du film « Les Dilemmes de Tokyo » de Naomi Kawase, précédé d'une présentation. Entrée : 5 euros. Places limitées.
Samedi 18 juin :
- De 13h30 à 19h30 au jardin japonais du Casino, Matsuri (kermesse version japonaise). Accès libre. Exposition d'artisanat traditionnel japonais et dégustation de la vert. Agence de voyage spécialisée du Japon « Voyages et Traditions ».
- De 13h30 à 19h30 au salon Lamartine du Casino, six ateliers libres: Expositions de Bonzai et d'Ikebana, tests et démonstrations de jeux vidéo, espace manga avec Benjamin Bello, scénarisation/dessin d'animation de « Super Tokyoland », démonstrations de kendô, art martial japonais, par le Chambéry Kendô Club.
- De 14 heures à 16 heures:

atelier d'origami avec Raphaël Maillo. Places limitées.
- À 18h30 au salon Victoria du Casino: Concert de Sachiko Kotoh, joueuse de Koto, chanteuse traditionnelle japonaise. Accès libre. Places limitées.
- À 20h15 au salon Victoria du Casino: Concert de Paris Samba Club, musique traditionnelle originaire d'Okinawa. Accès libre. Places limitées.
Dimanche 19 juin :
- De 11 h à 18 h au jardin japonais du Casino, accès libre au Matsuri (kermesse japonaise).
- De 11 h à 18 h au salon Lamartine du Casino, accès libre aux expositions de Bonzai et d'Ikebana, tests et démonstrations de jeux vidéo, vente de littérature japonaise et Haikus en partenariat avec la librairie Chemin Faisant et espace manga en partenariat avec la

librairie Bulles les Bains.
- Démonstrations de Kendô, art martial japonais par le Chambéry Kendô Club.
- De 14 h à 16 h: atelier d'origami.
Lundi 20 juin :
- De 13 h à 19h30 et de 19 h à 20h30 au salon Raphaël du Casino, conférence sur la cuisine japonaise avec Tomoko Murakami d'Aljomonoto Europe et démonstration de fabrication à la main de nouilles de Soba, pâtes de sarrazin japonaises avec le maître japonais Takayuki Wolanabe, chef du restaurant Konagata Denjo à Tokyo. Suivie d'une dégustation de ce plat traditionnel et authentique. Accès libre. Places limitées. Possibilité de participer à l'atelier, inscription par mail ayp@aixlesbains.com
- À 20h45 au cinéma Victoria: projection du film « Voyages à Tokyo » de Yasujiro Ozu, librettiste Bulles les Bains.
- Démonstrations de Kendô, art martial japonais par le Chambéry Kendô Club.
- De 14 h à 16 h: atelier d'origami.
Mardi 21 juin :
- À 10h30: Visite guidée « Aix à l'heure du Japon », découverte de la ville et de ses liens avec le Japon à travers le jardin japonais et le musée Faure et l'atelier de calligraphie japonaise avec Hirotozumi et Hirotozumi de Chine. Accès libre. Places limitées.
- De 14h à 17h au salon Lamartine du Casino: ateliers d'origami et de calligraphie, initiation aux plis de papier et à l'écriture japonaise avec Hirotozumi et Hirotozumi de Chine. Accès libre. Places limitées.

l'histoire d'amour entre Aix et le Japon est au rendez-vous !
précédée d'une présentation. Entrée: 5€. Places limitées.
Mardi 21 juin :
- À 10h30: Visite guidée « Aix à l'heure du Japon », découverte de la ville et de ses liens avec le Japon à travers le jardin japonais et le musée Faure et l'atelier de calligraphie japonaise avec Hirotozumi et Hirotozumi de Chine. Accès libre. Places limitées.
- De 14h à 17h au salon Lamartine du Casino: ateliers d'origami et de calligraphie, initiation aux plis de papier et à l'écriture japonaise avec Hirotozumi et Hirotozumi de Chine. Accès libre. Places limitées.



© Archives Départementales - Dorian Fu (à gauche) et Huguette Kobayashi (à droite) lors de la cérémonie.

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月17日版)

(フランス 3 2016年6月20日放映)

FESTIVITÉS | Le Matsuri s'achève aujourd'hui après une semaine chargée en animations diverses

Les richesses de la vie japonaise ont conquis les Aixois

C'était "stupéfait et bouleversé", cette semaine à Aix-les-Bains. Venues positives, bien sûr... Le raffinement et les splendeurs de la vie japonaise ont été dévoilés au public, qui a ainsi été entraîné dans les ateliers proposés. Si ce n'est la météo capricieuse, la maîtrise des artistes a semblé satisfaisante au contact direct des professionnels japonais. La première édition du Matsuri festival japonais, a donc été concluante et en attendants d'autres. M.B.



Environ 70 personnes ont suivi la conférence, mardi, sur la cuisine japonaise au salon Raphael du Casino.

L'INFO EN +
DERNIER JOUR
Ce mercredi, le Matsuri s'achève sur des ateliers d'origami (pliage de papier) et de calligraphie (écriture japonaise à l'encre de Chine). De 14h à 17h au salon Lamartine du Casino. Accès libre. Places limitées. Ce seront les derniers ateliers présentés à Aix-les-Bains après les concerts de musique, les ateliers manga et jeux vidéo, Karôï, Borçai et badminton, ainsi que la cuisine, peinture et cinéma.



Le cérémonie du thé (chawan) par le premier adjoint Renaud Borelli, à été animée par une spécialiste. À droite, un maître cuisinier venu du Japon a baptisé des sushis Seda en direct.



Magatte Nakayuki, maire de l'ancien consul du Japon et résidente aixoise, a découvert la plaque gravée en l'honneur de son défunt mari, qui fut le premier à sceller des relations d'amitié avec Aix. Les Aixois ont aussi pu découvrir le Karôï, l'écriture au bâton pratiquée exclusivement au Japon par les samouraïs. L'artisanat japonais est l'un des nombreux atouts.

LOCALE EXPRESS Les enfants ont vécu au rythme japonais



Sympathique moment de partage à l'école.

Tweet 0
Facebook
Google+
Twitter
LinkedIn

École Lamartine
La classe de CM1 de l'école Lamartine a vécu au rythme japonais, mardi. Le matin, les élèves ont participé aux activités proposées par l'office de tourisme d'Aix-les-Bains dans le cadre du Festival japonais (Matsuri). De retour à l'école, ils ont eu la chance de déguster un délicieux repas japonais confectionné par une maman japonaise. Grâce à sa gentillesse, les enfants ont vécu un moment de partage et d'échanges dans leur classe autour des sushis.

TAGS :

Aix-les-Bains

NOTEZ CET ARTICLE :

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月26日版)

(ル・ドフィネ・リベレ紙 2016年6月22日版)

【最後に】

エクスレバン日本祭は、《あそぶ・まなぶ・つながる》の3つのコンセプトを中心に準備されました。世界最小在外事務所である在リヨン領事事務所だけでは到底成し得ず、エクスレバンの強いイニシアチブがなければ実現しませんでした。この場をお借りして、同市のドミニク・ドール市長及びそのスタッフの皆様にご心から感謝致します。

文中でも述べましたが、1997年3月に他界された小林智彦大使の結ばれた絆が、約20年の時を経て、新たに私たちの手によって結び直されました。時代を越え、世代を越えて連綿として途切れることなく続いていく日仏友好の火は、また、次世代に引き継がれました。

本行事に御協力頂いた全ての方に心から感謝を申し上げます。

在リヨン領事事務所 一同